

草の根協力支援型
2018年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	タンザニア連合共和国
2. 事業名	若年妊娠とジェンダー格差を予防する教育支援事業
3. 事業の背景と必要性	タンザニアでは56.7%の少女が19歳までに妊娠・出産を経験すると言われており、妊娠による退学者数は※タンザニア国内で年間5,500人いると報告されている。強制退学となった10代の少女達は学習の遅れやサポートの欠如から、出産後に社会復帰して仕事に就く機会を得ることが非常に難しく貧困状態に陥りやすくなってしまふ。この問題については、学校だけでなく保護者と共有しないと解決に至らないという意見が現地の教師達から繰り返し出されている。※ World Bank, PRESS RELEASE NO: 2020/ 021/AFR
4. プロジェクト目標	小学校教師が学校において思春期教育プログラムを持続的に実施でき、かつ学校周辺のコミュニティにおいてジェンダーフリー教育が実施される体制をNRCFが確立する。
5. 対象地域	タンガ州コログウェ県（コログウェタウン、ルティンディ、マクユニ）
6. 本事業の対象となる人々	対象地域の小学校35校（児童6,000名）
7. 事業活動	<p>〈活動〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期教育プログラムを現地の教師が実施するためのチュートリアルを作成する 2. 教師が思春期教育プログラムを対象校で実施する 3. 対象校以外の教師に思春期教育プログラム紹介する 4. 若年妊娠について理解してもらうためのジェンダーフリー教育プログラムを開発し、コミュニティで実施する 5. 定期的に行政機関と話し合いを行う 6. 対象校で手洗いの啓発活動と水タンクの設置を行う <p>〈期待される変化〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教師に思春期教育プログラムのチュートリアルを実施する 2. 思春期教育プログラムが小学校において教師主体で実施される 3. 思春期教育プログラムが対象学校以外で認知される 4. 学校以外のコミュニティにおいてジェンダーフリー教育プログラムがNRCFのスタッフ主導で実施される 5. 行政機関と定期的な話し合いが行われ、行政との連携が強化される
8. 実施期間	2021年1月～2023年3月（2年3ヵ月）
9. 事業費概算額	11,685千円
10. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人スタッフ4名（プロジェクトマネージャー、プロジェクト統括、プログラム開発実施、プログラム実施） ・タンザニア人スタッフ3名（現地統括、ドライバー、性教育講師） ・現地の若年妊娠経験者（短期雇用講師）
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 Class for Everyone
2. 活動内容	アジア・アフリカを中心とした途上国における教育事業を展開する

*NRCF=New Rural Children Foundation（現地カウンターパート NGO）